

○本年度の非違行為防止に関わる目標		
目	教職員一人ひとりが今以上に倫理観を高めて、学校の職場が地域社会から信頼されるための取り組みをする。	
標	地域社会の動きが大きく変化している中において、日常の業務を遂行するために、行動規範を改めて確認するとともに、私たちの行動のよりどころを、具体的かつ明確にする。	
○非違行為防止研修の実施計画と実施報告		
実施月	非違行為防止研修実施計画	実施報告(教職員の参加の様子や反応、感想など)
4月	年度当初に当たり、飲酒運転・わいせつ行為等の非違行為をしないという誓いを記入する。	「誓い」を書き、下諏訪南小学校の教職員として飲酒運転やわいせつ行為等を行わないという自覚をあらたにした。
5月	交通事故の加害者になってしまったときには、どのような行動をとればよいのかを考える。校長との面談。	万が一事故を起こした時に、冷静に対応を判断できるよう、対応マニュアルを、各自が自家用車のグローブボックスに入れた。
6月	わいせつ教員対策法のポイントを確認して、わいせつ行為を絶対に起こさない雰囲気を作成する。	研修用の動画を見て、被害児童や、加害職員への対応を考え、職場からおこさない気持ちを新たにした。
7月	個人情報保護について研修し、夏休みを前に「自己に問う」セルフチェックをする。	USB紛失の事例から処分までを学び、情報漏洩に関するチェックシートに記入に、自身の振り返りをした。
8月	非違行為セルフチェックを通して、自分の認識について確認する。	セルフチェックを行い、2学期の職務において、自身がより気を付けることを意識することができた。
9月	体罰根絶のためのセルフチェックを行い、自身の人権感覚について振り返り、話し合う。	体罰はいかなる理由があっても認められないことを再確認した。
10月	生徒指導事例をもとに子どもへの寄り添い方について振り返る。校長との面談。	生徒指導においても体罰につながることを確認するとともに、普段からの生徒指導が大切なことを共通理解した。
11月	仲良し月間を契機に、子どもたちの人権アンケートの結果を見合い、話し合う。	主に自分の所属する学年の様子について知り、対応策を話し合った。
12月	酒気帯び運転をもとに、小集団で話し合う。 非違行為防止委員会開催。	飲酒自転車運転処罰の事例を知り、どうすれば防げたか、今後自校ではどのようにしていくかを小集団で話題にした。
1月	「教職員等による児童生徒暴力等の防止等に関する法律」について学ぶ。	感想を発表しあい、自分たちにできることを小グループで話し合った。
2月	理想の教師像について校長の話を聴く。校長との面談 非違行為防止委員会開催。	先生方が目指す学級経営を校長面談で、先生方、校長双方が話題にすることで、学校目標とのつながりを考えてもらった。
3月	南小職員の約束の見直しをする。セルフチェックで振り返る。(予定)	
○実施した研修に対する非違行為防止委員(第三者の委員)の感想		
地域や保護者から信頼される学校でありつつ、子どもたちの健全な発達のために、先生方にはこれからも人権感覚を磨きコンプライアンスを守る意識を高める研修を続けてほしい。		